

作曲法研究

Study of Composition

2単位 2年(後期)

宮澤 一人・教授/人間文化学科

【授業目的】 この講義では音楽理論研究で学んだ基礎的な「和声学」を土台に、さらに高度な内容を学ぶ。和声学の学習を一通り終えた段階で、さらに「対位法」や「編曲法」についても学習する。旋律への和声付けや、伴奏付けを行うことで、多様な音楽表現の方法を身につける。

【授業概要】 すでに学んだ「音楽理論研究」をふまえて、実践的な作曲や編曲の方法を学ぶ。

【先行科目】 『音楽理論研究』(1.0)

【関連科目】 『現代音楽芸術論』(0.5)

【履修上の注意】 この講義を受講するためには、「音楽理論研究」を受講していることが必要不可欠である。この講義から受講を希望する学生には、十分な音楽的素養を身に付けていることが要求される。また毎週かなりの量の課題をこなして行かなければならない。授業以外の学習に相当な時間を割かれることになる。課題の進行状態の悪い者には単位が出ないこともある。

【到達目標】 それぞれの音楽スタイルにふさわしい伴奏付けができる。また、様々な編成に向けた編曲ができる。

【授業計画】

1. この講義では、前期で学習した内容を基本に各受講生の進歩に応じて、授業内容の詳細を決める。
2. 課題の実践(その1)
3. 課題の実践(その2)
4. 課題の実践(その3)
5. 課題の実践(その4)
6. 課題の実践(その5)
7. 課題の実践(その6)
8. 課題の実践(その7)
9. 課題の実践(その8)
10. 課題の実践(その9)
11. お互いの解答を比較し検討する(その1)
12. お互いの解答を比較し検討する(その2)
13. 最終的な解答の作成(その1)
14. 最終的な解答の作成(その2)
15. 総括授業
16. 期末課題の提出

【成績評価】 講義時間中の課題の出来具合、および最終のテストにより評価する。

【再試験】 行わない

【教科書】 授業のための課題を、そのつどプリントして配布する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219112>

【連絡先】

⇒ 宮澤 (マルチメディア A 棟 204, 088-656-7163, miyazawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜日昼休み(研究室に在室している時は、特別な場合を除いて対応可能))

【備考】

- ◇ 今年度は開講する。なお、今回の開講が最終回になる。
- ◇ 平成20年度以前の入学生を対象とする。21年度以後の入学生は受講できない。